

2025 年度(令和 7 年度)事業計画書

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

1. 事業活動の方針

ホスピスの原点は患者さんとその家族に対する暖かいもてなしの心です。ホスピスとは建物ではなく考え方(哲学)であり、この考え方が宮崎の地に広く浸透していき、がんになっても障がいを持っても、住み慣れた場所で安心して暮らし、安らかに逝けるまちづくりを目指してきました。

近年、医療や福祉をめぐる社会事情が変化し、それとともに必要とされるニーズも変わってきました。一人暮らしの世帯が増え、介護を必要とする人も増えていますが、家に帰りたいと願っても、家族の都合や病院の在院日数の事情で帰れず、退院先が自宅ではなく施設にゆだねるケースもあります。在宅医療を受けて自宅で暮らす人の割合が減少し、その影響でデイサービスなどの在宅生活のリソースが閉鎖されるケースがあり、今後ますます質の高い在宅ケアが先細りになるのではと危惧されます。

法人の基本方針である「生命の尊厳を基本理念として、その人が望む場所で、望むように生を全うできるように、様々な職種(医療・福祉・行政)及びボランティアの連携をはかり、支援援助すること」の原点に立ち返り、以下の事業を実施します。

- ① 在宅ホスピス支援センター事業(ホスピスボランティア事業)
- ② 人材養成のための教育プログラム
- ③ エンド・オブ・ライフケア支援事業
- ④ ホームホスピスカあさんの家事業
- ⑤ 在宅総合支援「HALE たちばな」事業
- ⑥ みつばち診療所事業
- ⑦ ホームホスピス推進研修センター事業
- ⑧ 研究・啓発・情報・広報 及び助成・寄付の活用
- ⑨ 周年事業:「ホームホスピス宮崎設立 25 周年記念感謝の集い」
- ⑩ 組織運営

ホームホスピスカあさんの家曾師は、開設から 20 年を過ぎ、お借りしている建物の老強化や台風災害の被害の修復などの理由で、これ以上の維持管理ができないと判断し、曾師の家を閉じることになりました。「かあさんの家月見ヶ丘」に一室増築、曾師の住人を包括し、「かあさんの家生目台」との2軒で運営します。そのことで、介護職員にも少しゆとりができ、就労形態を見直すことができます。

「HALEたちばな」は、様々な課題に直面しながら 4 年目を迎えます。みつばち診療所は、医師及び看護師の増員で手狭になり、上野町にある平屋建ての診療所に移転しました。訪問看護ステーションぱりおんは、管理者の退職に伴い、新任の管理者で心機一転、再構築いたします。短期入所leileiは、全国に先駆け福祉型強化短期入所で運用しています。また、相談支援事業 luana は相談員 2 名体制で幅広い支援ができるようになります。医療が生活を支配しないという視点においては、成人の在宅医療と小児在宅医療は共通しています。これらの業務を担うため職員の充実とそれに見合う業務内容の充実を図り、職員の待遇改善にも努めます。

暮らしの保健室は、「ゆるりサロン」など、一人暮らしの方の孤立を防ぎ、地域にある居場所の役割を強化していきます。又宮崎市にある各種相談支援のための連携体制構築を模索します。法人内の事業所のリーダー会議を定期的開催し、運営状況も含めて情報共有できるようにし、その過程で抽出された課題を、どうやったらできるかを考え情報を共有し、職員がやりがいを持って働く職場を目指します。

2. 事業の実施に関する事項(今年度は次のような項目を重点的に実施します)

1) 在宅ホスピス支援センター事業 (ホスピスボランティア事業)

(1) 患者らいぶらり

実施日時：毎月第1木曜日・第3木曜日 14:00～15:00

場 所：古賀総合病院 東棟3F病棟産婦人科

内 容：病棟の図書管理、整理

担 当：峰 瑞枝

- ・昨年度より東病棟3階の産婦人科病棟のみに実施場所を変更し、引き続き2班交代制で活動する。

(2) 宮崎聞き書き隊

実施日時：毎月第2日曜日 10:00～12:00

場 所：暮らしの保健室

内 容：依頼のあった方を聞き書きする

聞き書き例会の開催(第2日曜日)

他団体の聞き書き活動のサポート

担 当：井上 直敬

(3) 緩和ケア病棟園芸ボランティア

実施日時：毎月第1・第3水曜日 10:00～12:00 (現在休止中)

場 所：宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭

内 容：緩和ケア病棟の庭園の花の管理等

担 当：村中 伸子

(4) かあさんの家ボランティア

実施日時：随時

場 所：ホームホスピスカあさんの家

内 容：庭の手入れ(ご家族)

ボランティア実習(看護学生)

担 当：甲斐 昌江

2) 人材養成のための教育プログラム

(1) 映画会「ハッピー☆エンド」(令和7年度 宮崎市在宅療養相談事業)

期 日: 2025年5月31日(土)14:00~16:20

会 場: 宮崎キネマ館

(2) がん患者と家族のためのサポーター養成講座

「がんとともに暮らす」(仮称) (宮崎県がんサロン等運営支援事業)

期 日: 未定

会 場: 未定

講 師: 未定

3) エンド・オブ・ライフケア支援事業

(1) 暮らしの保健室

「地域に開放した暮らしの保健室を目指して」

地域との連携…赤江地域まちづくり推進委員会・宮崎市赤江地区地域包括支援センター

暮らしの保健室だより 年12回

地域連携や暮らしの保健室利用者を増やす取り組みをしていく。

① ゆるりサロン

- ・要介護者、要支援者でもなく、自分の身の回りのことはできるが、日中は主に一人暮らしの方々が共に集って、一緒にランチを食べてお茶の間的な居場所となっている。
- ・地域包括ケアセンターとも連携を取りながら、ゆっくりした時間と空間を提供する。
- ・利用料の見直しや各曜日の特色を広報し、気軽に立ち寄ってもらえるような場所とする。

実施日時: 毎週月・水曜日 10:30~15:00

場 所: 暮らしの保健室

内 容: 健康体操、パッチワーク教室、音楽遊び、季節の行事、交通教室、防災教室など

担 当: 宮脇 裕子(事務局)

②これからライフデザイン塾

「住み慣れた地域で暮らしていくために」

期 日: 2025年4月9日(水)

会 場: 恒久自治公民館

講 師: 市原 美穂

「生活にアロマをとりいれてみよう」

期 日: 未定

会 場: 暮らしの保健室

講 師: 未定

(2) ふらっとカフェ（宮崎県がんサロン等運営支援事業）

- ・がん患者団体等との情報交換

主 催：宮崎県

運営企画：ホームホスピス宮崎

実施日時：毎月第2水曜日 13:30～16:00

場 所：県立宮崎病院 会議室(がん拠点病院)

＊休日ふらっとカフェ…2025年9月23日、2026年2月11日（暮らしの保健室）

担 当：太田 幸子・岡田 瑞穂

(3) 宮崎市在宅療養相談事業（宮崎市補助事業）

- ・随時病気や介護の電話相談を受ける

①在宅療養でんわ相談室

相談担当：理事長・看護師・保健師・事務局

②お薬相談（暮らしの保健室）

毎月第4月曜日 11時00分～12時00分

担当：岡元 俊雄(当法人理事)

(4) 相談窓口ネットワーク

- ・各種相談窓口を持つ団体や地域と繋がり、共に地域を支える

担当：岡田 瑞穂

①認知症や生活相談への対応

②相談窓口をもつ地域の団体と連携し、情報交換や連携強化を図る

- ・宮崎市赤江地区包括支援センターとの連携事業

「いきいき美容教室」2025年7月9日(水)10:30～12:00 暮らしの保健室

4) ホームホスピスかあさんの家事業

(1) かあさんの家の運営

○かあさんの家・月見ヶ丘 ○かあさんの家・生目台

統括マネージャー：甲斐 昌江

主任：荒川久美子（月見ヶ丘）・柴田さつき（生目台）

- ・介護スタッフの充足を図る。そのために多様な働き方に対応する環境整備を行う。
- ・スタッフ会議と、多職種との連携のためにチームカンファを開き、情報の共有に努める。
- ・家族会の充実と交流会の開催。
- ・運営の安定を図る（入居率の向上）。
- ・介護保険と障がい福祉サービスの検討。
- ・職員のケア水準の向上とスタッフの増員は課題であるため、求人募集の工夫を続ける。
- ・BCP の運用（研修・訓練）を行う。
- ・4月末をもって曾師を退去するにあたっての後始末をする。

曾師を開設して 21 年、建物の老朽化と 2024 年 8 月の台風の被害で屋根の損傷がひどく、引き続きお借りすることを断念した。そのため、2025 年 5 月より月見ヶ丘、生目台の 2 軒のかあさん家の運営となる。

(2) 訪問介護ステーションぱりおん（医療・介護保険規定による事業）

- ・ホームホスピスカあさんの家へスタッフ派遣

管理者：甲斐 昌江

【スタッフ研修】

- ・スタッフ会議及びカンファレンスを通して、ケアの理念を共有する。
- ・防災訓練（備蓄、消火訓練、避難訓練）・感染症対策
- ・口腔・栄養管理の強化・薬についての知識を学ぶ

【医療・介護サービス事業所との連携】

- ・かかりつけ医、訪問看護ステーション、訪問薬局、訪問歯科との連携。
- ・訪問リハ、福祉用具、居宅介護、入浴サービスなどの介護保険のサービス事業者との連携

【外部研修】

- ・介護労働安定センター主催研修

2025 年 7 月 25 日 緊急時の介護

9 月 19 日 虐待防止・身体拘束

11 月 11 日 認知症の方の対応について・プライバシー保護と法令遵守

2026 年 1 月 29 日 カスタマーハラスメント研修

- ・第 14 回ホームホスピス全国合同研修会の受講

期日：2025 年 12 月 6 日

会場：兵庫県神戸市

【新規事業】

- ・重度訪問介護事業所としての登録を行い、障害福祉サービスにも取り組む

5) 在宅総合支援「HALE たちばな」事業

HALE たちばな

施設長：市原 美穂

- ・スタッフが自らの自己研鑽することでスキルアップし、当該事業に貢献できることを目的に、研修・学会参加などの支援をする。
- ・HALEリーダー会を月に1回のめどで開催し、情報を共有し、またお互い事業の連携を図る。

(1) 医療・介護保険・障害福祉サービス事業

①訪問看護ステーションぱりおん

サテライト：訪問看護ステーションサテライトぐりーん（恒久本部内）

管理者：久保野 イツ子

副長：松木佑紀、田原絵里

- ・かあさんの家をはじめ、地域の在宅療養を支える。特に重度の障がいがある小児在宅療養を支える。
- ・福祉型強化短期入所、日中一時支援事業及び相談支援事業の運営を担う。
- ・看護学生の実習を受け入れる。
- ・0歳から100歳までの医療充実のためのまちづくりを目指したネットワーク構築に寄与する。
- ・各委員会の設置し、スタッフ間の研修を含めて行う。

（虐待防止、身体拘束適正化推進、感染症対策、リスクマネジメント、BCP、喀痰吸引）

②日中一時支援 ohana

管理者：川越 やよい

- ・障がいや医療的ケアの必要な主に小児の日中一時支援事業を行う。

（定員：火～木10名、月・金5名）

- ・運営日：月～金（土日祝年末年始休み） 9:00～18:00
- ・送迎あり

2025年度は、内部体制の強化を図り、安定的でかつ安心安全な受け入れ体制を確立する。また、引き続き日中一時支援の延長にある生活介護サービスの新規事業計画についても検討する。

③福祉型強化短期入所 leilei

管理者： 靱田 真弓

- ・主に医療的ケア児や重症児のための福祉型強化短期入所事業（5床）を行う。
- ・運営日：金～日（年末年始休み） 9:00～翌16:00（帰り15:00）、最長2泊3日
- ・金～土は送迎あり

2025年度は、内部体制の強化を図り、安定的でかつ安心安全な受け入れ体制を確立する。行政に対しても福祉型短期入所サービス開設に伴う研修生の受け入れや育成事業も提案していく。

- ・業務マニュアルを策定し、新人研修等に役立てる。

④相談支援事業所 luana

管理者：大西 三紀子

2025 年度は内部体制の強化を図り、主に宮崎市内の当事者に幅広く対応できるようにする。これにより、leilei および ohana の効率的な利用促進と、宮崎市の医療的ケア児が適切な障害福祉サービスを受けることのできる基盤づくりを目指す。

（２）医療的ケア児と家族のための支援事業

2021 年度～2023 年度に実施した休眠預金活用事業「社会的孤立解消のための事業」の継続のために昨年度より取り組んでいる「医療的ケア児と家族のための支援事業」を継続して実施する。

対象者：主に HALE たちばなの leilei、ohana を利用する子ども達のご家族

内 容：

- ①県内の医療的ケア児の実態調査
- ②ヨガ教室やウクレレ教室などの定期開催
- ③ohana、leilei の利用者を中心とした季節の行事（花見、夏祭り、ハロウィーン、クリスマスなど）
- ④県内の家族会とのオンラインによる定期的な意見交換（Pono ネットワーク）の実施
- ⑤ウェブサービス「つどいけあ」の運営
- ⑥各種セミナーの開催

（３）コミュニティカフェ游椿の利用

2025 年度は、基本的に応接スペース、会議やセミナーのスペース、「医療的ケア児と家族のための支援事業」のためのイベントスペース、クラフト作品販売スペースとして活用しながらカフェとしての委託先を募集し、HALE たちばなの理念に合う委託先を検討していくこととする。

6）みつばち診療所事業

体制強化と HALE たちばなの事業拡大に伴って 2025 年 3 月より移転した（新住所：宮崎市上野町 4-23）が、今後も HALE たちばなと連携して事業を実施していく。

内科・小児科・在宅医療（在宅療養支援診療所）

院 長：立野 進

副院長：田中 美幸

統括看護：前畑 和樹

- ・ 24 時間体制で、子どもから大人まで総合的に診療する。
- ・ 在宅医療と週 1 日の外来日（予約制）で運営する。
- ・ 宮崎市内の訪問診療所と連携を図り、「機能強化型」の訪問診療所として運営する。
- ・ 宮崎大学の地域医療・総合診療医学講座及び都農町国民健康保険病院等と連携し、家庭医療・総合診療・地域医療に関する臨床実践教育の場としての役割も担う。

7）ホームホスピス推進研修センター事業

(1) ホームホスピス研修の受け入れ（全国ホームホスピス協会より委託）

- ・「ホームホスピスの学校」受講生の実習受入機関として、研修内容を組み立て計画に添って、指導や相談に乗りながら、ホームホスピス立ち上げまで助言指導する。
- ・ホームホスピス運営や従事スタッフが運営やケアなどスキルアップの研修受け入れをする。

(2) 実習の受け入れ

- ・感染予防を徹底しながら実習計画を立て、かあさんの家での実習を指導。

(3) 一般社団法人全国ホームホスピス協会（全国ホームホスピス協会事務局業務委託）

担 当:黒岩 雄二・岡田 瑞穂・岡田 直樹・岩切 知峰

- ・第14回ホームホスピス全国合同研修会の開催

期 日:2025年12月6日

会 場:神戸駅前研修センター(兵庫県神戸市)

- ・ホームホスピスの学校(第9期・10期)

ホームホスピスをつくりたい、ホームホスピスのケアを学びたい人のための講座

オンライン授業・実習

8) 研究・啓発・情報・広報 及び助成・寄付の活用

(1) 認定 NPO 寄付文化の醸成

- ・賛助会員を増やす
- ・マンスリーサポーター制の充実により、継続的な寄付収入の増加を目指す
- ・HPで賛助会員や寄付の呼びかけ
- ・ファンドレイジングの活用
- ・助成金の申請

認定ファンドレイザー 黒岩 雄二

準認定ファンドレイザー 岡田 瑞穂

(2) 助成・寄付

- ・助成:勇美記念財団「在宅医療推進のため普及啓発・人材育成」
- ・寄付:マンスリーサポーター
「Syncable」 かあさんの家
「READYFOR」 HALE たちばな
「OSUSO」 ホームホスピス宮崎

(3) ホームページ／SNS の充実・報道

- ① ホームページ／SNS

- ・ホームページの運営 (HHM・HALE たちばな)
- ・Facebook、Instagram
- ・ニュースレター(年 2 回発行)
- ・暮らしの保健室だより(年 12 回発行)

求人情報や利用促進のための情報発信にも力を入れる。

② 報道

- ・研修会などの事業の広報を、報道機関、関係団体へ依頼する。

(4) 講師派遣、見学及び研修の受け入れ

- ・大学講師派遣、学会などへの講師派遣
- ・見学・現場実習等受け入れ
- ・他施設職員現場研修の受け入れ

9) 周年事業:「ホームホスピス宮崎設立 25 周年記念感謝の集い」(仮)

- ・2025年度当初に実行委員会を設置し、年度の後期に実施する。

10) 組織運営

(1) 会議の業務

- ・定時総会の開催
期 日: 2025 年 5 月 31 日(土) 13:30~15:00
会 場: 暮らしの保健室
- ・理事会の開催(年 3 回予定)
- ・リーダー会議の開催(月 1 回 第 4 木曜日)
- ・事務局会議の開催

(2) 会員管理業務

(3) 経理業務

収支の状況を定期的に確認する方法を検討し、効率的な会計管理を目指す。

(4) 労務管理業務

就業規則(給与規定)を見直し、適切な労務管理を行う。

(5) 総務関連業務・・・届出等

《事務局職員体制》

【本部事務局】

事務局担当理事:黒岩 雄二

経理担当:2名 総務・事業担当:3名 かあさんの家担当:1名

【HALE たちばな事務】

事務長:小川 博司

HALE 事務担当:2名 訪問看護事務担当:2名

診療所事務担当:2名 障害福祉事務担当:2名(兼務)